

# 平成27年度 健康福祉部 施策展開方針 報告書

## 1. まちづくり政策(健康福祉部関係分)

政策 03 福祉 ・ 保健 ・ 医療	<b>政策展開の方向性</b>
	<p>全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるよう健康意識の向上と健康づくりの推進に努め、病気や怪我をした際には、必要な治療が迅速かつ適切に受けられるよう地域医療体制と市立病院経営の安定を図ります。</p> <p>また、だれもが安心して生活できるよう保険・医療など社会保障制度の周知に努めるとともに、制度の安定した運営を図ります。</p> <p>さらに、障がいのある方や高齢者が、地域でいきいきと自立した生活が送られるようサービスの充実を図るとともに、市民の地域福祉に対する理解を深め、人材を確保することで、地域全体で支え合う体制づくりを推進します。</p>
	<b>平成27年度の取組状況報告</b> (前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載)
	<b>03-01 地域福祉の充実</b>
	<p>・第3期地域福祉計画に基づき、支えあいの仕組みづくりや地域を支える担い手・ネットワークづくり、地域福祉を推進する環境づくりのため、相談支援体制の充実や地域福祉の担い手として重要な役割を果たす、民生委員・児童委員や社会福祉協議会などの関係機関・団体に対して支援を行ったほか、庁内の関係部局で様々な取組を行いました。その結果、成果指標である「市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉が出来ていると思う市民割合」は、26年度と比較して4.7ポイント向上しました。</p>
	<b>03-02 健康づくりの推進と地域医療の安定</b>
	<p>・健康づくりの推進のため、地域健康づくり推進員を中心とした地域の健康づくり活動、健康相談や健康教育を積極的に実施しました。これまで各地区で実施していた運動教室が終了したため、参加者数は減少していますが、昨年度に制作した江別独自のリズムエクササイズ「E-リズム」の体験教室は好評であり、今後も、継続して「E-リズム」の普及に努め、市民の健康づくり活動を促進します。</p> <p>・乳幼児期からの生活習慣病予防に視点を置いた保健指導に努めるとともに、集団がん検診においては、休日の検診日を増やし、レディースデイや託児の実施など、特に女性が受診しやすい環境の整備に努めた結果、がん検診受診率は若干増加しました。</p> <p>・成果指標である「健康だと思ふ市民割合」は、8割台を維持しています。</p>
	<b>03-03 障がい者福祉の充実</b>
	<p>障がい者支援・えべつ21プラン(第4期障がい者福祉計画・第4期障がい福祉計画)に基づき、「障害のある方の自立を地域で支える共生社会の形成」に向けて、障がいのある方が地域で安心して生活できるように福祉サービスの提供や社会参加の支援を行ったほか、自立支援協議会の活用などによる関係機関との協議や企業への広報活動・交流活動に加えて、障がいのある方の就労に関する包括的な相談窓口となる「えべつ障がい者しごと相談室すてら」を設置するなどの就労支援の取組を行いました。その結果、成果指標である「自宅で生活している障がいのある方の人数」は7,798人で26年度と比較して71人減少しましたが、心身障害者自立促進交通費助成事業における「身体障がい者、知的障がい者並びに精神障がい回復者のうち通所サービス決定者数」は236人で26年度と比較して34人増加しました。</p>
	<b>03-04 高齢者福祉の充実</b>
<p>高齢者総合計画に基づき、介護保険事業を推進し、延べ58,600人(第1号被保険者)の方に対し、介護サービスを提供しました。施設居住系サービスの基盤整備としては、地域密着型介護老人福祉施設と認知症対応型共同生活介護の整備事業者を選定し、平成28年度、29年度に向けた計画的な環境整備を進めています。</p> <p>また、福祉除雪、緊急通報システム貸与等の高齢者の生活支援のための事業を継続しているほか、住み慣れた地域で暮らしていくための体制づくりに向け、関係者による研究会を設け、生活支援や支え合いなどの地域の取組や資源の情報収集を行いました。</p> <p>介護保険サービス利用者数のうち在宅サービス利用者の割合は、64.8%で、微増となっています。</p>	
<b>03-05 安定した社会保障制度運営の推進</b>	
<p>・国民年金への加入や保険料納付などに関する国民年金制度の啓発を行いました。</p> <p>・市民の健康増進と医療費の適正化が図られるよう、国保だよりの発行など国民健康保険制度の周知を行いました。また、特定健康診査などの保険事業の充実に努めた結果、特定健診受診率は25.4%(速報値)と前年度比0.3ポイントの微増となりました。</p> <p>・出前講座やパンフレットの全被保険者への配布を通じて後期高齢者医療制度の啓発を行いました。被保険者の健康の保持増進を図る健康診査については、受診率は前年度に比して概ね横ばいとなっています。</p> <p>・生活保護被保護者の就労実現を目指して、就労支援担当者からの就労支援やハローワークとの連携による就労支援の取組を実施しました。</p> <p>・生活困窮者自立支援法の施行に伴い、生活困窮者に対する自立に向けた相談等の支援を27年度から行いました。その結果、相談者数は320人となり、江別市の人口に対する相談者数の割合は0.26%で、道内全体0.14%を上回りました。</p>	

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉が出来ていると思う市民割合	%	42.1	32.6	37.3		↗
健康だと思う市民割合	%	82.0	80.6	79.6		→
自宅で生活している障がいがある方の人数	人	7,600	7,869	7,798		↗
生きがいを感じている高齢者の割合	%	78.9	76.1	74.3		↗
介護サービスが充実していると思う市民割合	%	92.1	88.2	91.2		→
健康福祉部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「地域福祉活動支援事業」 ボランティア活動の延べ実施人数	人	6,484	7,224	7,670		↗
「健康づくり推進事業」 こころの健康づくりや生活習慣病に関する講座や教育、相談の参加者数	人	9,604	11,483	11,009		↗
「心身障害者自立促進交通費助成事業」 身体障がい者、知的障がい者並びに精神障がい回復者のうち通所サービス決定者数	人	260	202	236		↗
「介護保険事業計画」 介護サービス利用者数のうち在宅サービス利用者の割合	%	63.7	63.7	64.8		↗

政策  
06

## 政策展開の方向性

子育て  
・  
教育

子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。

### 平成27年度の取組状況報告（前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載）

#### 06-01 子育て環境の充実

- ・「江別市子育てひろば」において、子育てに関する講習会などのイベントの充実を図るとともに、子育て情報や求人情報の提供など、子育て世代に向けた支援の充実に努めました。また、地域子育て拠点である「あそびのひろば」を継続して開催するとともに、一部においては地域の実情に合わせて実施日数を増加するなど、子育て環境の充実を図りました。
- ・老朽化した市立保育園の施設整備とともに、待機児童の解消や多様な保育ニーズに対応するため、平成26年度に策定した白樺・若草乳児統合園（よつば保育園）の実施設計に基づき園舎を建設しました。今後外構等の整備を実施し、平成28年11月に開園予定です。
- ・0～2歳児の待機児童の解消を図るため、子ども・子育て支援新制度のスタートに伴い、平成26年度開設した小規模保育（2か所）を継続するとともに、認可外保育施設からの移行により、小規模保育を2か所、事業所内保育を1か所を新たに地域型給付施設として認可し、保育に係る受け皿を拡大しました。
- ・放課後児童クラブの運営に関して、実施主体に関わらず必要な水準を維持し、安心して児童を預けることができる環境整備を目的とした、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定しました。
- ・子どもの発達に関する相談や通所などの療育支援を早期から受けられるよう、相談支援専門員を1名増員し、体制の充実を図りました。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	39.2	43.2		↗
教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	84.1	83.3		↗
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	77.6	76.6	75.8		↗
健康福祉部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「江別市次世代育成支援行動計画・後期計画」保育所定員数	人	990	1,076	1,172		↗

## 2. えべつ未来戦略(健康福祉部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	<b>■2C 雇用の創出と人材育成の支援</b> 「待機児童解消対策事業」【重複】(子ども育成課) 「白樺・若草乳児統合園建設整備事業」【重複】(子ども育成課)
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	<b>■3A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり</b> 「待機児童解消対策事業」(子ども育成課) 「白樺・若草乳児統合園建設整備事業」(子ども育成課) 「親子安心育成支援事業(子育てひろば事業)」(子ども育成課) 「あそびのひろば事業」(子ども育成課)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

## 3. 健康福祉部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出決算額 (千円)	一般会計(A)	12,629,025	13,613,485			
	特別会計(B)	23,170,879	15,387,484			
	・国民健康保険会計	13,355,174	15,377,484			
	・後期高齢者医療会計	1,474,595	1,472			
	・介護保険会計	8,341,110	8,528			
	合計(A+B)	35,799,904	29,000,969			
正職員人件費 (千円)	人工(a)	146.05	142.55			
	平均単価(b)	7,853	7,764			
	人件費(a×b)	1,146,931	1,106,758			
総額		36,946,835	30,107,727			